



大連の特産品『サクランボ』

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

大連のサクランボは、110年以上前から栽培されている特産果物です。6月の最盛期には市場や果物店はもちろんのこと、トラックの荷台や歩道、地下鉄の出入口などの露店で売る人も多くみられ、大連の街はサクランボ一色になります。そこで今回は、大連のサクランボについて紹介したいと思います。

2. 大連の「サクランボ」について

(1) 大連の気候的優位性

右表のように、大連の気候がサクランボの栽培に適している条件に概ね当てはまっており、大連は中国でも有数のサクランボ産地になりました。

| | サクランボ栽培に適した条件 | 大連の気候 |
|--------|---------------|---------------|
| 平均気温 | 12℃以上 | 10.5℃ |
| 年間降水量 | 700～1,000ミリ | 550～950ミリ |
| 年間日照時間 | 2,600～2,800時間 | 2,500～2,800時間 |

(2) 大連におけるサクランボの栽培の歴史

中国の本格的な商業サクランボは、1870年代に西欧の宣教師や船員などが山東省煙台地区に持ち込んだのが始まりとされています。

大連では、1906年に日本国内からブドウ、ナシ、リンゴなどとともにサクランボを運び入れ、関東都督府が設置した金州苗場試験場で試験栽培を始めました。1908年からは旅順など金州以外の大連郊外でも栽培を拡大してきました。

(3) 大連サクランボの栽培時期と種類

大連サクランボの栽培方法は、温室ハウス栽培と露地栽培があります。温室ハウス栽培の場合、1月～3月が開花時期、3月～5月が収穫時期です。収穫時期には

温室ハウスサクランボが真っ先に市場に出回ります。深紅で大振りかつ肉厚の「美早」や「ロシア8号」は、大連温室ハウスの代表的な品種です。

露地栽培の場合、4月～5月が開花時期、6月初め～7月上旬が収穫時期です。6月に入ると甘酸っぱく艶やかな露地サクランボが続々と登場します。露地サクランボは品種が多いえ、「早熟・中熟・遅熟」と成熟時期が異なるため、大連サクランボは比較的長期間楽しめるという特徴があります。露地サクランボの代表的な品種としては、早熟の「紅灯」(1973年生まれ、1991年国家科学技術進歩賞第3位受賞)、中熟の「美早」、遅熟の「巴托」などがあります。

露地サクランボシーズンには10～20種類以上のサクランボを味わうことができます。価格は20元～160元(約400円～約3,200円)/kgと、品種によって異なり、時期によっても大きく変動します。



【たくさんの種類のサクランボが出回る】



【人気トップクラスの「佳紅」】

(4) 大連サクランボの生産量、出荷先、輸出先

2022年現在の大連のサクランボ栽培面積は240km²(36万ムー)、生産量は26.5万トン、生産額は100億元(約2,000億円)近くに達しています(うち露地の栽培面積は181km²、生産量は14.2万トン)。

大連のサクランボ産地は、主に瓦房店市得利寺町や金普新区のほか、普蘭店区や旅順口区に集中しています。生産集中地区には5つの大型産地専門卸売市場が設置され、年間取引量は10万トン以上になります。

中でも金普新区七頂山大桜桃集散センターは、全国最大級のサクランボ産地卸売市場となっています。収穫シーズンには全国各地から1,000社以上の販売店が買い付けに集まり、「順豊」や「郵政」などの宅配物流業者は大連サクランボをスピーディーに全国各地へ発送しています。6月大連空港は24時間体制で上海、北京など25都市に計9,100トンを空輸しました。上海や北京のショッピングセンターでは販売促進会も開催されています。

また大連サクランボは、これまで香港、マレーシア、タイ、シンガポール、ベトナム、ラオス、アラブ首長国連邦など10近くの国・地域に輸出されてきました。特にロシアには今年初めて輸出し、年間250トンの輸出を見込んでいます。

(5) ECプラットフォームを活用し、全国へ販売

ここ数年「京東、天猫、淘宝（タオバオ）、拼多多（ピンドウオドゥオ）」などのECプラットフォームで、全国の有名な果物販売店が大連サクランボを取り扱うようになりました。また6月16日には金普新区でライブコマースのイベントも行われ、数万人が視聴したそうです。

大連サクランボはブランドとして認知されているため贈答用として利用されることが多く、大連以外でも手軽にサクランボを購入できるようになり、人気はさらに高まっているように見えます。

3. おわりに

大連では数多くの方がサクランボの生産・流通・販売に携わっており、大連サクランボは「一村一品」運動の主力商品として農業振興の面からも重要な役割を担っています。

また市民の間でも生活に定着しており、目で見ても口で味わうと初夏が感じられます。最近ではサクランボ狩りを新たなレジャーとして後押ししています。

サクランボのシーズンには、ぜひ大連に来られて、おいしい大連サクランボを味わってください。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp